

11. 復興都市としての現在地

あれから15年、復興の道のりとこれから

POINT 1

震災後の人口は男性に比べて女性が約1,000人多く減少し、その後も男女とも緩やかに減少しています。

POINT 2

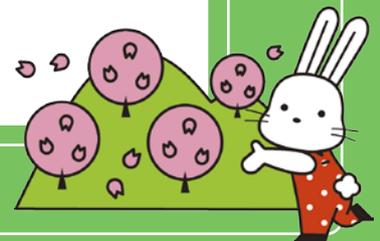
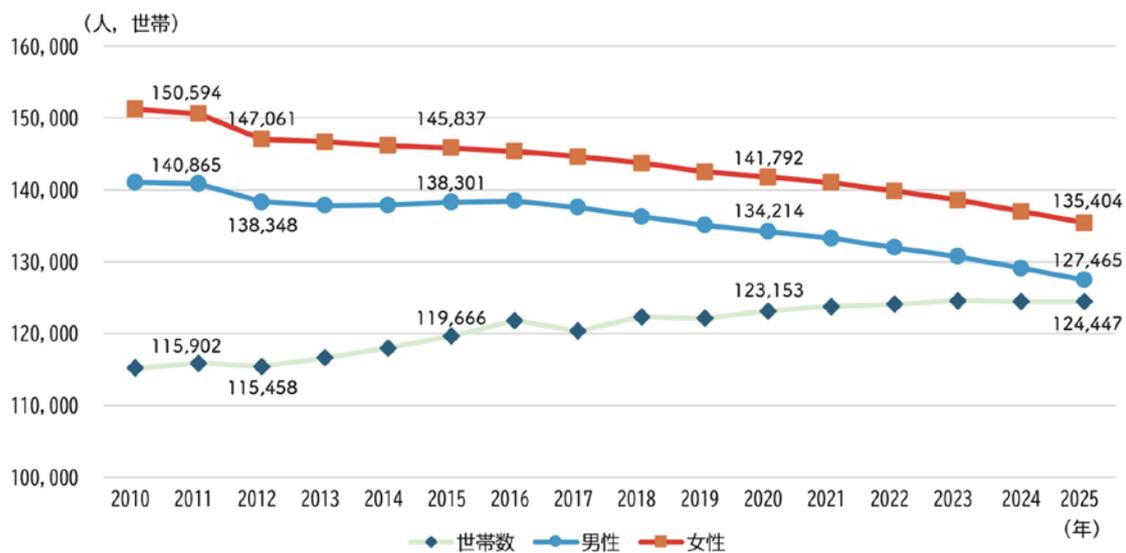
観光需要や一部製造業を中心に緩やかな回復傾向が続いています。

POINT 3

物価高騰の影響による個人消費の伸び悩みや人口減少など、構造的な課題も抱えています。

PICK-UP
代表的なグラフ

震災後の人口推移

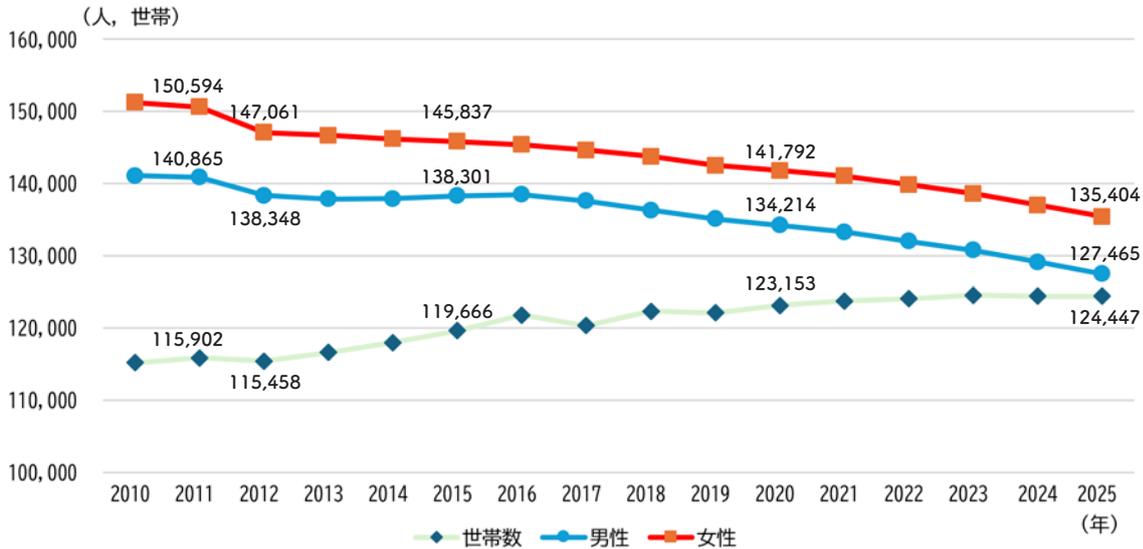


190

震災後人口推移

theme
復興都市としての
現在地

震災後の減少は男性に比べて女性の方が1,000人程多く減少し、その後も緩やかに減少していますが、男性は2016年にかけて一時的に増加し、その後は減少が続いています。



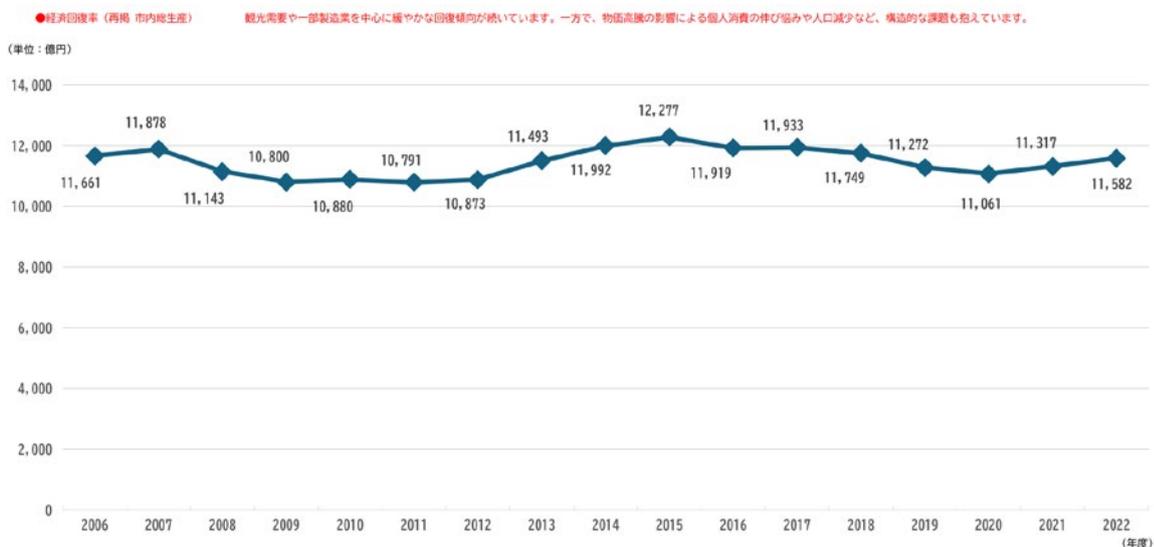
資料：福島市住民基本台帳
基準日：各年3月31日現在

191

産業の回復

theme
復興都市としての
現在地

国内景気の回復や企業収益の改善を背景に、直近では2年連続のプラスとなっています。



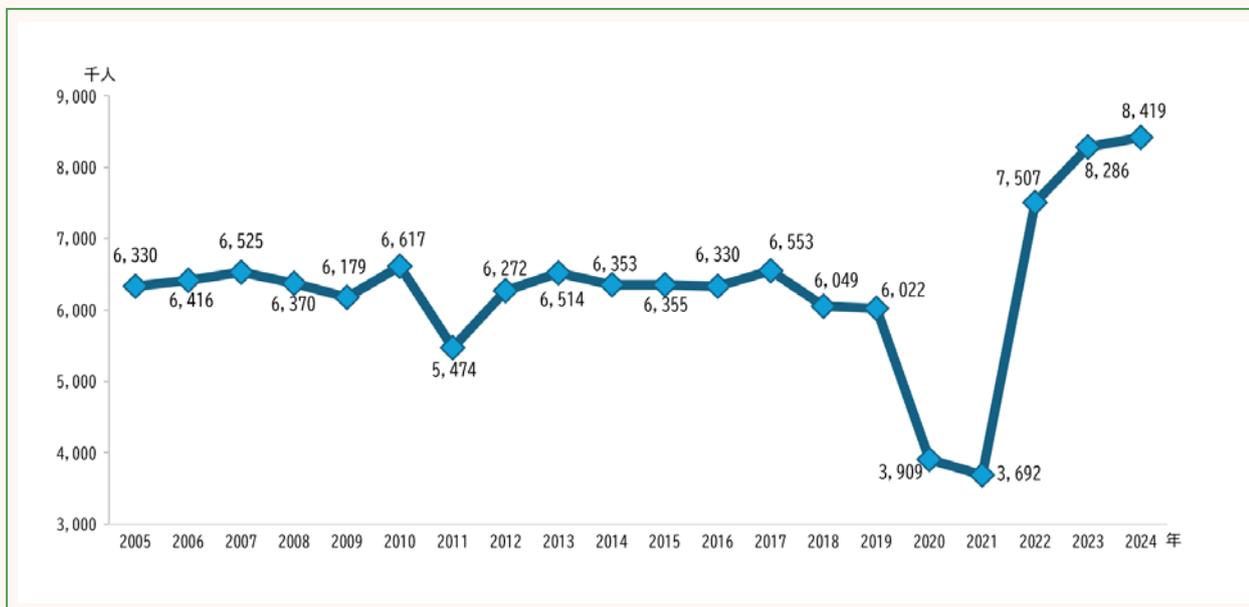
資料：福島県「令和4（2022）年度福島市町村住民経済計算年報」から作成

192

観光の回復（観光客入込数）

theme
復興都市としての
現在地

コロナ禍からの回復や道の駅ふくしまのオープンなどにより、2022年以降は、3年連続で過去最高を更新しています。



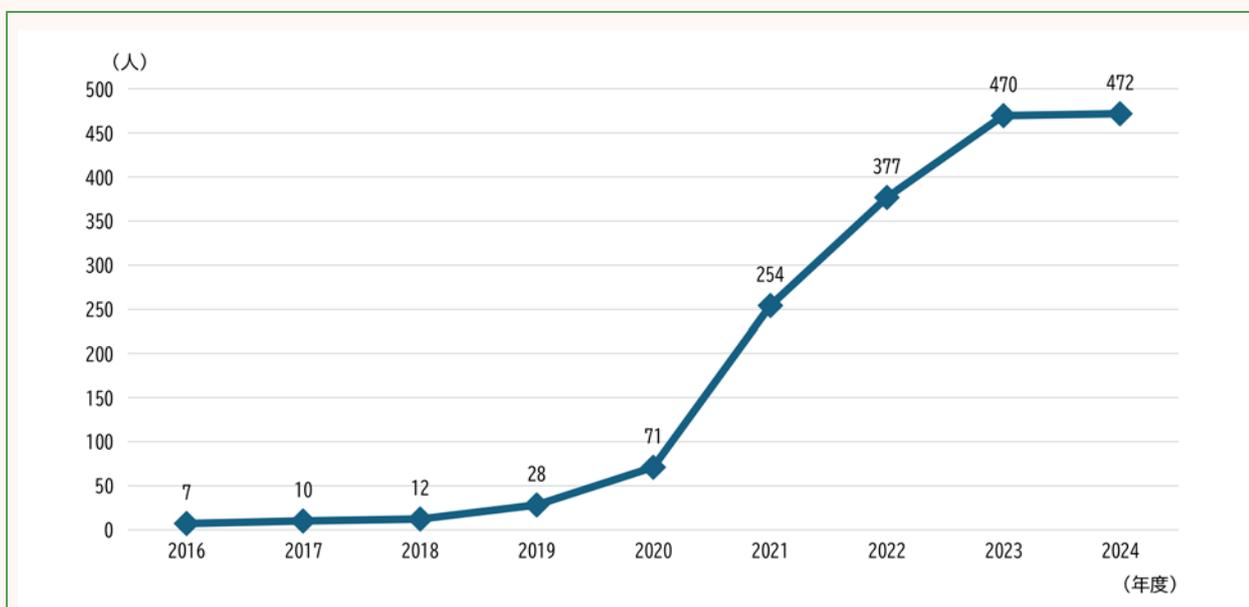
資料：観光交流推進室

193

移住者数の推移

theme
復興都市としての
現在地

移住者数は高い水準で推移しており、地域に活力をもたらしています。



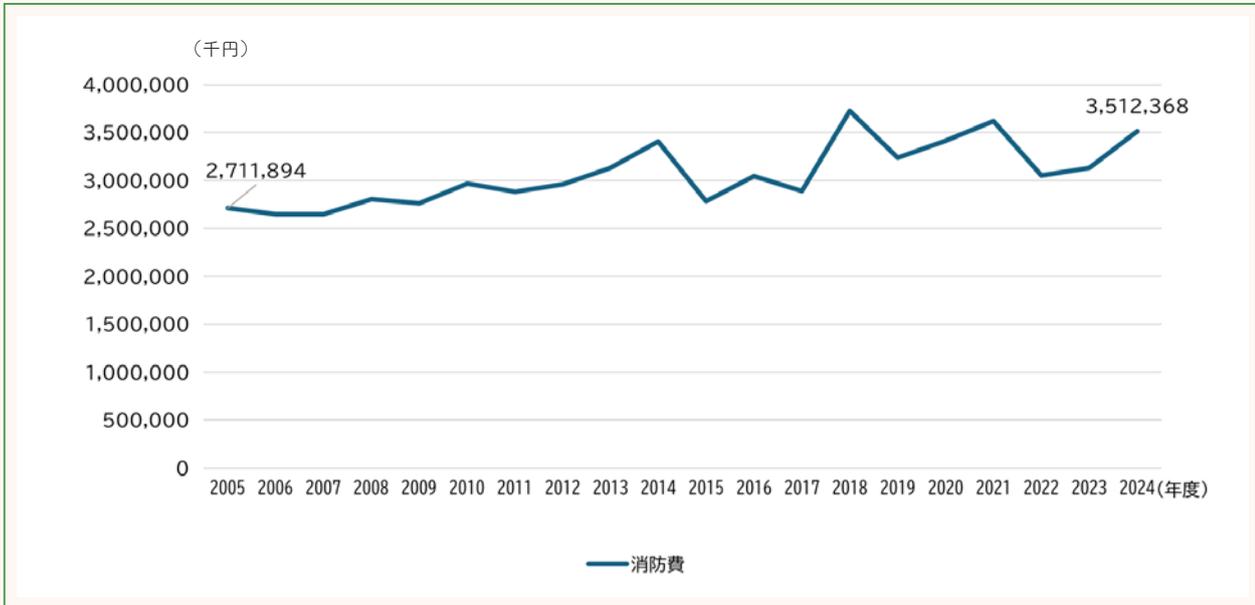
資料：定住交流課

194

消防・災害対策への投資額

theme
復興都市としての
現在地

消防費は消防及び災害対策に係る経費であり、増加傾向で推移しています。



資料：財政課

195

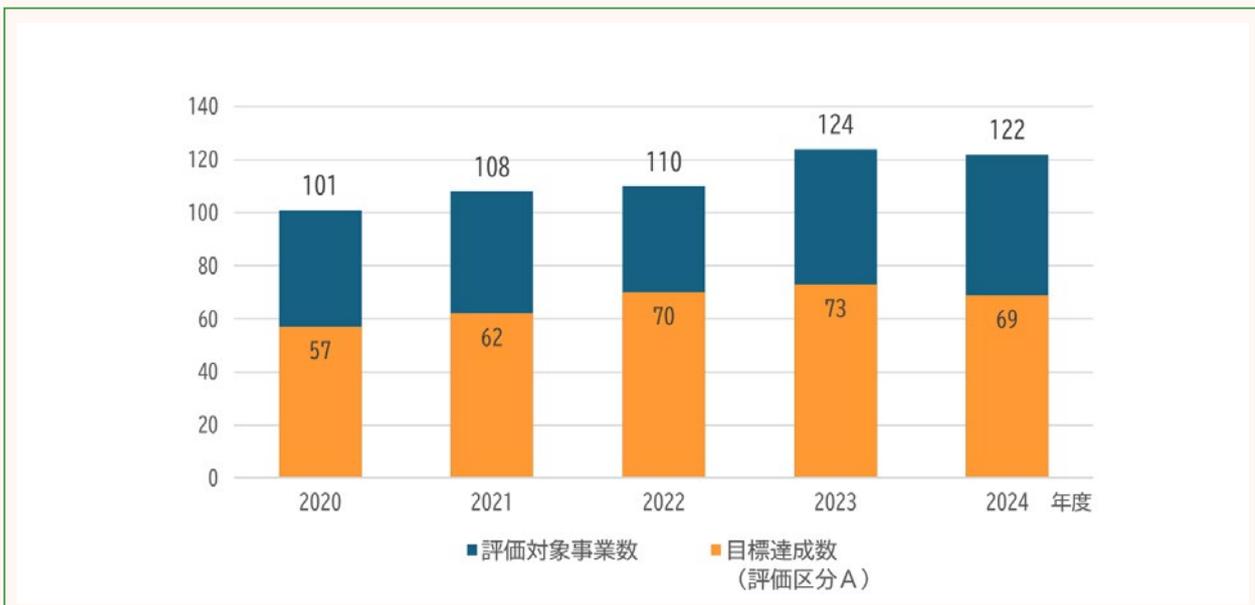
福島市国土強靱化地域計画評価対象事業数と目標達成数

theme
復興都市としての
現在地

ハード事業の多くが、国、県との調整や、設計等の準備段階に時間を要し目標達成まで期間を要している。

※取組み事業（学校における防災教育の推進・都市計画道路の整備・道路橋梁の耐震化・河川の改修など）

※評価区分A=目標値に対して100%を達成しているもの。



資料：路政課